

宇部商業高校の出前授業（高千帆中学校）

高千帆中学校2年生が、職場体験を前に宇部商業高校生を講師にマナー講座を受講しました。例えば、あいさつをするときに大切なことは、①い手の目を見て、②つども、③きに、④づけましょうということや身だしなみを整えること、敬語の使い方を見直すことなど、社会に出る準備として基本的なことを学びました。生徒は「知らなかったことがあったけど、詳しく分かってよかった」「あいさつがこんなに大切だとは思わなかった」などの振り返りを発表しました。写真は先言後礼（言葉が先でお辞儀などの動作は後）の練習です。



地域と連携した親子活動（有帆小学校）

有帆小学校では、地域にある学びの素材のホタルを生かした学習に取り組んでいます。今年度は、育友会が有帆ホタル部会の協力を得て、子どもと一緒に保護者もふるさとを学ぼうという親子活動を実施されました。参加者は、ホタル部会の方からホタルの種類や食べ物、飼育方法等について教わった後、ホタルの卵やえさのカワニナなどを興味深く観察したり、ホタルの小屋を見学したりしました。地域資源を活用して地域と連携する活動により、子どもたちだけでなく保護者もふるさとを愛することにつながる好事例の一つです。



カリフラワーアート（高泊小学校）

高泊小学校では、新型コロナウイルスの感染で沈みがちだった学校や地域をみんなの笑顔でいっぱいにすることを目的に、昨年度に続き3年生が、地域の企業やJAの協力を得てカリフラワーとブロッコリーで農地にメッセージを浮かび上がらせるアートプロジェクトに取り組みます。この日は、児童が考えたアリガトウやガンバロウ、オモイヤリなどの言葉をそれぞれがデザイン画に表しました。その中から一つが決まり、2学期に苗を植え3学期に収穫する予定です。さて、どんなメッセージが描かれるのか楽しみです。

